

昭和二十五年一月十九日

陳情書

小学校に於ける家庭科存置に関する件

文部省初等教育課長

大島文義殿

小學校に於ける家庭科存置に關する陳情書

和共

全國家庭科教育協會としては別紙の理由によりまして
小學校教育に於て家庭科は是非存置すべきだと考へ
ますので速く決定せられ、學校教育基準法制定に際し
てはよろしく御勘考下さいませう陳情申上げます

昭和三十一年一月 日

全國家庭科教育協會代表者

熊谷はれ

文部省初等教育課長

大島 文義 殿

請願理由

今回小学校家庭科の廃止になる事を聞き及び
ましたけれども現在日本の家庭生活は文化水準
低く到底文明国のそれとは比較にならない点のみ
と申しても過言ではないと存じます。その上現在の
母親は一般的に知識低く且つ経済的にも余裕
ありません。故に充分自信をもつて子女を指導する
事や覚束ない状態にありますので、家庭生活の

基礎となる知識技能を小学校より授けよき
家庭人としての教育をすることが現在最も
大切となります

以上の理由を以て小学校の家庭科は是非
存置させていねばなりません

